

# 文書への自動的なタグ付けを実現する、 高速な手法に関する検討

## D-57

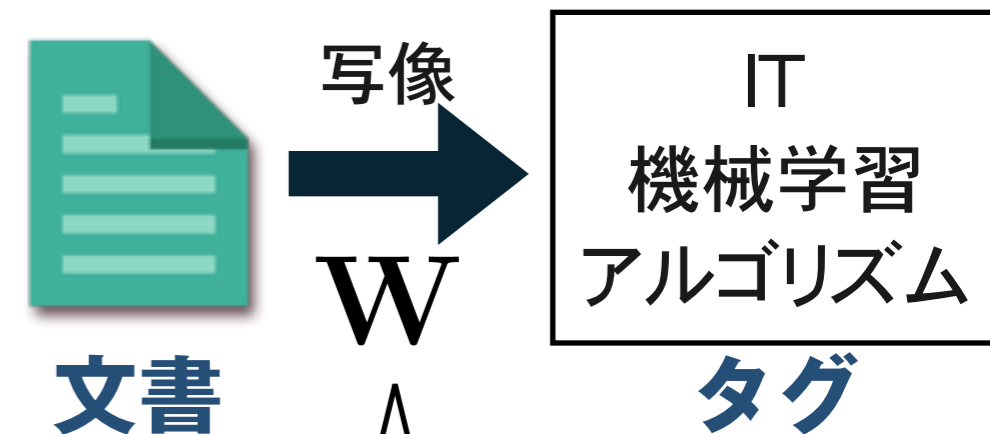
早稲田大学 小笠原 光貴, 井田 安俊, 横井 創磨, 松本 隆  
ogasawara13@matsumoto.eb.waseda.ac.jp

### 目的

教師あり学習を行い、文書に対して**高速に**タグ付けを行う。  
ただし、学習データは**大量**のタグ付き文書データを利用する。

### 手法

FastTag<sup>†</sup>という**画像アノテーションの手法**を文書に適用する。  
並列処理でき、高速で、比較的精度が良いという特徴を持つ。



$$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n \|B y_i - W x_i\|^2 + \lambda \|W\|_2^2 + \gamma r(B)$$

を最小化して学習する

### 学習データの特徴

文書数が**大量**  
タグの**“欠損”**がある

† Minmin Chen, Alice Zheng, Kilian Q. Weinberger: Fast Image Tagging. In ICML 2013